



柏野だより

学校評価特集号

令和3年2月
京都市立柏野小学校
校長福村智子

第2回 学校評価へのご協力ありがとうございました

3学期の初め第2回の学校評価を行いました。皆様からの評価とご意見を受け、教職員の自己評価の結果も含め、これまでの課題と改善策について話し合いました。その中から、ぜひ一緒に考えたい点についてお知らせします。

なお、保護者の方々への評価票は児童数で配布し、回収率は87%でした。ご協力いただきありがとうございました。児童・教職員も、それぞれに応じた項目で学校評価を実施しています。また、学校運営協議会の皆様にも評価をお願いしています。

◎…よくあてはまる ○…どちらかといえばあてはまる △…どちらかといえば △…どちらかといえばあてはまらない ×…あてはまらない
「◎」と「○」という評価結果の項目を、「達成している」項目と考えています。

◇保護者の方々からの評価結果

保護者			A %	B %	A+B %	C %	D %	無回答 %	前期 A+B %
学校の取り組みに	1	学校は、教育方針や取組を学校だよりやHP、懇談会等の機会にわかりやすく伝えている。	41.3%	56.9%	98.2%	1.8%	0.0%	0.0%	93.3%
	2	学校は、家庭・地域と連携して、一人一人の子どもを大切にした学校づくりに取り組んでいる。	41.3%	54.1%	95.4%	2.8%	0.0%	1.8%	94.2%
	3	学校は、家庭・地域と連携し、教育を進めていることが保護者に伝わっている。	36.7%	57.8%	94.5%	3.7%	0.0%	1.8%	92.5%
	4	子どものことについて学校に気軽に相談できる。	44.0%	46.8%	90.8%	7.3%	0.0%	1.8%	88.3%
	5	教職員は、保護者や訪問者などにていねいに対応している。	54.1%	44.0%	98.2%	1.8%	0.0%	0.0%	94.2%
	6	学校は、「柏野小学校いじめ防止基本方針」のもと、子どもが安心して通える取組をしている。	28.4%	62.4%	90.8%	5.5%	0.0%	3.7%	90.0%
子どもに	7	子どもは、楽しく学校へ行っている。	59.6%	38.5%	98.2%	1.8%	0.0%	0.0%	93.3%
	8	子どもは、学習内容が理解でき、基礎的な学力が身についている。	31.2%	56.0%	87.2%	12.8%	0.0%	0.0%	84.2%
	9	子どもは、日頃から体を動かすことをいとわない。(スポーツや外遊びを含む)	46.8%	40.4%	87.2%	12.8%	0.0%	0.0%	84.2%
家庭で	10	我が子に基礎的な学力が身につくように、家庭学習の習慣等の働きかけをしている。	22.9%	65.1%	88.1%	11.0%	0.9%	0.0%	81.7%
	11	家庭では、早寝早起き、持ち物の用意など基本的な生活習慣が身に付くようにしている。	31.2%	58.7%	89.9%	9.2%	0.9%	0.0%	90.8%
	12	家庭では、子どもの話を受けとめ聞くようにしている。	33.9%	61.5%	95.4%	4.6%	0.0%	0.0%	95.8%
	13	いじめはよくないことであることを家庭でも話している。	47.7%	45.9%	93.6%	4.6%	0.9%	0.9%	91.7%
	14	我が子が自分から進んで挨拶をするように、家でも挨拶している。	53.2%	43.1%	96.3%	3.7%	0.0%	0.0%	93.3%
	15	我が子が望ましい言葉遣いをするように、家でも望ましい言葉遣いをしている。	17.4%	69.7%	87.2%	12.8%	0.0%	0.0%	79.2%
	16	我が子が学校のきまりや約束を守って生活するように働きかけている。	36.7%	61.5%	98.2%	1.8%	0.0%	0.0%	95.0%
	17	我が子が他人を思いやり、親切にするように働きかけている。	48.6%	50.5%	99.1%	0.9%	0.0%	0.0%	97.5%
	18	我が子が将来の夢や希望について考えていることができるような働きかけをしている。	32.1%	63.3%	95.4%	4.6%	0.0%	0.0%	86.7%
	19	我が子が何でも好き嫌いなく食べるよう、家でも働きかけている。	33.0%	55.0%	88.1%	11.9%	0.0%	0.0%	90.0%
	20	新型コロナウイルス感染症等に対する感染予防のための生活スタイルを家庭でも行っている。	41.3%	57.8%	99.1%	0.9%	0.0%	0.0%	99.0%

◇「子どもたちのようす」について

(代表的な5項目の結果を比較)

この5項目は、子ども・保護者・教職員の評価に共通する内容の項目です。

子どもの様子について	児童	保護者
評価項目の主旨	◎+○ %	◎+○ %
①楽しく学校へ来ている。	93.6%	98.2%
②しっかりあいさつしている。	78.4%	96.3%
③基礎基本の学力を身につけている。	94.4%	87.2%
④しっかり家庭学習に取り組んでいる。	81.6%	88.1%
⑤すすんで体を動かそうとしている。	83.2%	87.2%

◇「学校の取組」について

(代表的な4項目の結果を比較)

この4項目は、保護者・企画推進委員の評価に共通する内容の項目です。

学校の取組について	保護者	運営協議会
評価項目の主旨	◎+○ %	◎+○ %
①方針や取組をおたより等でわかりやすく伝えている。	98.2%	81.8%
②一人一人の子どもを大切にした学校づくりに取り組んでいる。	95.4%	100.0%
③家庭・地域と連携して、教育を進めている。	94.5%	81.8%
④子どものことについて気軽に相談できる。	90.8%	72.7%

*後期も、新型コロナウイルス感染防止のために制限されることが多々あり、特に学校運営協議会を始めとする地域の方々との連携を取りにくく状態が続きました。そのため、学校運営協議会の評価が、前期同様無回答が多くなりました。このような中ではありますが、何かできることはないと模索し取り組んだ半年になったと思います。

▼「楽しく学校へ来ている」

保護者の達成率が98%，子どもの達成率は93%以上と、前期よりも上がっています。新型コロナウイルス感染防止のために、「大きな声を出さない」「社会的な距離を取る」などの制限が多い中、教職員も授業や他の取組において工夫を重ねています。同じように子どもたちも、やり方を工夫して友達や先生たちと関わっています。そのことが、校内においての過ごし方に変化をもたらし、子どもたちの気持ちも前向きになってきているのではないでしょうか。学校では、こんなときだからこそ、人権意識を大切にできる取組をあらゆる角度から行い（教職員94.1%），子どもたちの意識を高めることでより楽しい学校生活につなげていきたいと考えています。

▼「しっかりあいさつをしている」

「あいさつ」については、子どもの達成率は78.4%と前期よりも4%上がっています。保護者の達成率96.3%は、前期よりも3%近く上がっています。学校運営協議会の評価は72.7%でした。家庭でも取り組んでいただいていることが、子ども自身の自主的な行動に繋がってきているのではないか、と考えられます。ご意見の中で、「先生が立つと、子どものあいさつが違う」というものもありました。教職員からは「低学年はまだできているほうだと思うが、地域の人や登校時の見守り隊の方にきちんとできているのかが心配だ、より良い学校するには、挨拶が気持ちよくできるような何らかの取組が必要なのではないか」という意見もありました。気持ちの良いあいさつは楽しい学校生活に繋がる、と考えています。地域の方、見守り隊の方々をはじめ、PTAの方々や教職員の取組や日々の関わりをこれからも進めていきます。

▼「基礎基本の学力を身につけている」▼「しっかり家庭学習に取り組んでいる」

子どもたちには、「先生と一緒にする勉強はよくわかりますか？」という質問文で、学習の達成感・成就感（わかる楽しさ）をたずねています。子どもたちの達成率は94%，保護者は87%，教職員は82%でした。

学校での学習と大きくつながる家庭学習では、子どもたちは82%，保護者88%でした。

子どもは「宿題」や「テスト」をできることが成就感に繋がっているのではないかと考えます。後期に入り、学校では主体的な学習を目指して、ICT機器（一人一台のタブレット等）の活用なども取り入れながら学習に取り組んでいます。これまでよりも子ども一人一人に課題意識をしっかりと持つことができるようにしていかなければならぬと考えています。子ども一人一人に応じた先を見据え、子どもの得意なところを伸ばしたり、苦手なことを克服したりすることにつなげていけるような取組を続けます。ご家庭でも、子どもの得意分野や興味関心をどのように主体的な学びにつなげていくことができるのか、学校での学習内容を見ながら、家庭での学習の内容や量・時間をお子たちと一緒に考えて進めて頂けたらと思います。

▼「困ったことを話す・気軽に相談できる」

「気軽に相談できる」については、保護者91%，学校運営協議会73%で、「先生に困ったことを話す」は、児童68%でした。教職員は、「気軽に相談に応じ、丁寧に対応している」の達成率が94%でした。

教職員は、子どもや保護者の皆さんのおもいをしっかりと受け止め、対応していますが、保護者にとっては、困ったことや相談ということ自体に少しの勇気がいります。気軽に声をかけていただけるよう、より良い両者の関係づくり、雰囲気作りが、益々求められているのだと思います。毎日の学校生活で見える子どもたちの様子も、事あるごとにお伝えしていきますので、何かありましたら、気軽に声かけください。

▼「方針や取り組みをわかりやすく伝えている」▼「家庭・地域と連携して、教育を進めている」

学校は、このコロナ禍であるからこそ、学校便り、ホームページ、PTAメール、学級便りなどを活用して、迅速に分かりやすく方針や取組をお伝えするように心がけています（教職員100%・・・前期より18%アップ）。保護者も98%と前期よりも5%上がっており、学校運営協議会の達成率も、82%と9%上がっていきます。

新型コロナウイルス感染防止対策については、ぎりぎりまで国や府の方針が決まらないことが多く、保護者の皆様にはやきもきさせてしまうことが多いと思っていますが、そのこともご理解いただき、ご協力頂いていることが伝わってきます。感謝申し上げます。

連携につきましても、保護者は95%と高く、学校運営協議会も82%と15%も上がっていきます。

この時期だからこそきめ細かな対応が必要とされています。それを踏まえながら、より迅速に対応していくようにこれからも心がけていきます。

▼保護者の家庭での関わりについて

今回も、三者それぞれに、自分自身の子どもへの関わり方を振り返り、明日からの関わり方に繋げていけたらと考え、家庭での関わりについての質問項目を設けました。その中で、前期に低かった保護者の「望ましい言葉遣い」については、87.2%と8%上がりました。子どもも、自分自身の言動を振り返りましたが、74%と少し低めです。親しくなってくると、相手がどう思うかよりも、自分の感情を相手に押し付けてしまう話し方をしてしまうことがあります。相手の気持ちや立場を考えた話し方に気を付け、挨拶と共に、日々の生活の中での会話の重要性を自覚しながら第三者とも子どもたちに関わっていけるたらと思います。

▼その他 子どもたちの評価 から

「友だちからされたことで、いやな思いをしていますか」（していないが81%）と「先生に困ったことを話すことができますか」（68%）という項目については、前期よりも少し下がっています。

今も続くコロナ対応に、我慢することが多く、素直な感情の表出ができにくくなっています。子どものおもいに寄り添った関わりは、今まで以上に必要だと考えています。学校での「教育相談週間」による子どもたち一人一人と深く話し合える時間の確保や、道徳の時間をはじめとする全教育活動を通しての相手の気持ちを考えて行動できる指導、人権学習での多様な生き方を認め合う心の育成など、一人一人の子どもたちが学級の中に自分の居場所があり、安心して学校生活を送ることができます。前期同様、全教職員で情報交換も密に行い、共通理解をしながら関わっていけるようにしていきます。前期に続き、高等学校まで続く生き方探究パスポートの取組も続けていきます。

▼新型コロナウイルス感染予防の取組について

新型コロナウイルス感染予防の取組について、児童は94%，保護者は99%，教職員は100%の達成率でした。

子どもたちが毎日学校に来ていることは、人と人との関わりが避けられないことです。子どもたちの学びの機会を守るために、学校では、保護者や地域の方々にもご協力いただきながら、感染予防に努めています。子どもたちには、手洗いや消毒、適切な距離など毎日声をかけています。給食は、前を向いての黙食で少し寂しさも感じます。それでも、こうやって取り組むことが、一日も早く日常に戻ることに繋がると、子どもの命を守ることを最優先して、これからも保護者の皆様のご協力も得ながら、教職員一同で対応していきます。